

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年4月21日)

- 1 平成29年度国土交通省関係予算の配分について 【県土総務課】……1ページ
- 2 道の駅「琴の浦」のオープンについて 【道路企画課】……4ページ
- 3 とっとりらしい水害対策の推進について 【河川課】……5ページ
- 4 平成28年度第3回湖山池会議の開催概要について 【河川課】……9ページ
- 5 平成29年度天神川総合水防演習の実施について 【河川課】……10ページ
- 6 鳥取砂丘コナン空港ビル一体化工事について 【空港港湾課】……11ページ
- 7 ユネスコ世界ジオパーク鳥取隠岐間超高速船チャーター事業結果について
【空港港湾課】……12ページ
- 8 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路企画課・道路建設課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】……13ページ

県 土 整 備 部

平成 29 年度国土交通省関係予算の配分について

平成 29 年 4 月 21 日

県 土 総 務 課

国の平成 29 年度予算が 3 月 27 日に成立し、3 月 31 日に予算の配分が発表されました。

国土交通省では、水害・土砂災害や巨大地震等に備えるための防災・減災、老朽化対策、「成長と分配の好循環」による成長力の底上げと地方創生の実現など我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「国民の安全・安心の確保」、「生産性向上による成長力の強化」及び「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」等に重点的に配分されています。

県土整備部関係の概要は次のとおりです。

1 直轄事業（県土整備部所管分、事業費ベース）

○直轄事業の配分額は、対前年度伸率 0.87（同じ事業の国予算は対前年度伸率 1.01）となったが、国の H28 補正（経済対策）で約 57 億円が配分されており、これらを合わせると対前年度伸率 1.03 となる。

直轄事業の前年度比較（事業費ベース）

（百万円）

	本県の状況						国予算の 対前年度伸率
	H29年度 当初配分額 ①	H28年度 補正配分額 ②	H29当初＋ H28補正③ (①＋②)	H28年度 当初配分額 ④	(H29)対前 年度伸率 ①／④	(H29＋H28 補正)対前 年度伸率 ③／④	
道路事業	25,085	4,484	29,569	30,039	0.84	0.98	1.00
河川・海岸事業	1,960	305	2,265	1,942	1.01	1.17	1.01
河川	1,421	305	1,726	1,328	1.07	1.30	1.01
海岸	539	0	539	614	0.88	0.88	1.00
砂防事業	1,189	230	1,419	961	1.24	1.48	1.01
港湾事業	1,100	700	1,800	945	1.16	1.90	1.03
計	29,334	5,719	35,053	33,887	0.87	1.03	1.01

(注) 1 港湾事業には境港管理組合分を含む。

2 河川事業、砂防事業の国予算の伸率は治水事業を記載。

(1) 道路事業

○「全国ミッシングリンク」に相当する「山陰道」などの改築事業については、約 240 億円の配分であり対前年度伸率は 0.85 倍であるが、国の H28 年度補正（経済対策）の約 42 億円を合わせると前年度と同額となる約 282 億円が確保された。

○「北条道路」が新規に事業採択され、県内の山陰道の未開通区間の全てが事業化となった。このほか、交通安全 I 種事業として湯梨浜地区・北栄地区で進められている事故対策事業（交差点立体化）に約 6.5 億円が配分されており、改良工事、橋梁下部工事が進められる。

○「鳥取西道路」については、平成 29 年度直轄事業計画で示された上限値の約 210 億円が配分されており、対前年比伸率は 0.90 倍であるが、平成 28 年度に集中していたトンネルなど大型構造物の整備が進んだことによるものであり、平成 30 年の鳥取西道路全線開通に向け着実に前進した。

なお、鳥取西道路（鳥取西 IC～青谷 IC）にあるトンネル 7 箇所、及び橋梁 15 箇所（IC 橋除く）の大型構造物は全て着手済みである。

- 「鳥取自動車道」及び「山陰道（米子道路）」において進められている付加車線の設置については、鳥取自動車道（鳥取 IC 付近）のトンネル工事が最終年度となることから、対前年度伸率 0.48 倍となっているが、平成 29 年度直轄事業計画で示された上限値の約 22 億円が配分されており、早期供用に向けた必要額が確保された。

箇所名	今回配分額		備考
鳥取西道路	59.2 億円	210.4 億円 (233.5 億円)	改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事等
鳥取西道路（Ⅱ期）	77.6 億円		
鳥取西道路（Ⅲ期）	73.6 億円		
北条道路	1.0 億円（ - ）		測量、地質調査
鳥取自動車道 （付加車線）	19.1 億円	22.4 億円 (47.0 億円)	改良工事、橋梁工事、トンネル工事
米子道路 （付加車線）	3.3 億円		
鍵掛峠道路	5.8 億円（ 2.4 億円）		用地買収、改良工事等
計	239.6 億円 (282.9 億円)		

※（ ）は前年度配分額

（2）河川事業、海岸事業

- 直轄河川・海岸事業は、総額約 20 億円（対前年度伸率 1.01）が配分され、斐伊川（中海湖岸堤）における短期整備箇所である米子空港南地区、短中期箇所である貯木場南地区及び米子港地区の推進、日野川（法勝寺川青木地区）の平成 29 年度完成などが図られる。

（百万円）

箇所名	地区名	H29 配分額	H28 配分額	増減	H28 補正 （前倒し）
斐伊川	中海湖岸堤：米子空港南地区、 貯木場南地区、米 子港地区ほか	239	318	△79	65
	環境整備：米子湾地区	290	153	137	50
千代川	河道掘削ほか：徳吉地区	250	259	△9	105
天神川	河道掘削ほか：米積地区ほか	352	299	53	55
日野川	築堤・護岸ほか：青木地区	290	299	△9	30
皆生海岸	人工リーフ サンドリサイクル：富益工区	539	614	△75	-
計		1,960	1,942	18	305

（3）砂防事業

- 鳥取県中部地震の復興（復興）に取り組むため、被災地域における土砂災害対策を推進する大山山系直轄砂防事業（天神川（吉田砂防堰堤、西尾地区〔新規〕）など）に約 12 億円（対前年度伸率 1.24）が配分され、全国予算の前年比 1.01 を大きく上回った。

（4）港湾事業

- 境港ふ頭再編改良事業（外港竹内南地区貨客船ターミナル整備事業）は、今年度 10 億円（対前年度伸率 1.16、同じ事業の国予算は対前年度伸率 1.03）が配分され、H28 年度補正（経済対策）の 7 億円（中野係留施設含む）を合わせると 17 億（対前年度伸率 1.90）となり、ターミナルの平成 31 年度末供用開始に向け着実に前進した。
- 鳥取港については、鳥取港千代地区防波堤整備事業に 1 億円が配分され、静穏度の向上に向けた取組が行われる。

2 補助事業（県土整備部所管分、事業費ベース）

○補助事業は、北条倉吉道路（延伸）として北条 JCT が新規に事業採択されたほか、岩美道路ほか4箇所に対前年度伸率 1.12 倍となる約 28 億円が配分された。補助事業のうち地域高規格道路における対前年度伸率の全国平均は 0.99 倍であり、これを大きく上回っている。
 なお、国の H28 補正（経済対策）の約 12 億円を合わせると約 40 億円の配分となる。

補助事業の前年比較（事業費ベース）

		本県の状況						国予算の対前年度伸率	備考
箇所		H29年度配分額①	H28年度補正配分額②	H29年度+H28補正配分額③(①+②)	H28年度配分額④	(H29)対前年度伸率①/④	(H29+H28補正)対前年度伸率③/④		
道路事業	岩美道路	1,475	500	1,975	1,475	1.00	1.34	-	
	北条倉吉道路(延伸)	40	0	40	0	皆増	皆増	-	北条JCT
	倉吉道路	100	140	240	33	3.03	7.27	-	
	倉吉関金道路	702	500	1,202	702	1.00	1.71	-	
	江府道路	465	50	515	280	1.66	1.84	-	
計		2,782	1,190	3,972	2,490	1.12	1.60	0.99	地域高規格のみ

- 岩美道路 …… 浦富 IC～東浜 IC 間の平成 30 年代前半の供用に向けて、トンネル工事や橋梁工事など整備推進を図る。
- 北条倉吉道路（延伸） …… 今年度から北条道路整備に合わせた北条 JCT の整備に向け測量・設計に着手する。
- 倉吉道路・倉吉関金道路 …… 倉吉西 IC～福山 IC（仮）間の橋梁工事など、平成 30 年代初めの供用に向け整備推進を図る。
- 江府道路 …… トンネル工事に着手し、整備推進を図る。

3 交付金（当初予算の国費ベース。市町村分・他部局分含む）

- 交付金の合計では、対前年度伸率 0.98 で全国配分総額の伸率 1.00 を下回る配分となった。
- このうち社会資本整備総合交付金は対前年度伸率 1.05、防災安全交付金については対前年度伸率 0.96 の配分となっている。
- 国の H28 補正（経済対策）において、社会資本整備総合交付金に約 13 億円、防災・安全交付金に約 39 億円が配分されており、これらを合わせると対前年度伸率は 1.25 となる。
- 社会資本整備総合交付金については、住宅・まちづくり関係事業の予算が大きく伸びており、道路関係予算は減額傾向にあるが、国の H28 補正（経済対策）を含めた道路関係予算の対前年度伸率は 1.11 が確保されている。

交付金事業の前年度比較（国費ベース）

		本県の状況						国予算の対前年度伸率
交付金名		H29年度配分額①	H28年度補正配分額②	H29年度+H28補正配分額③=①+②	H28年度配分額④	(H29)対前年度伸率①/④	(H29+H28補正)対前年度伸率③/④	
社会資本整備総合交付金		5,300	1,314	6,614	5,057	1.05	1.31	0.99
うち道路関係		1,882	719	2,601	2,336	0.81	1.11	-
防災・安全交付金		13,159	3,899	17,058	13,771	0.96	1.24	1.00
農山漁村整備総合交付金		763	1	764	797	0.96	0.96	0.96
計		19,222	5,214	24,436	19,625	0.98	1.25	1.00

道の駅「^{こと}うら 琴の浦」のオープンについて

平成 29 年 4 月 21 日
道 路 企 画 課

山陰道「琴浦 PA」が道の駅「琴の浦」として、4月29日（土）にリニューアルオープンします。併せて同日9時30分から記念式典が開催されます。

1 道の駅「琴の浦」について

○平成28年1月27日に重点「道の駅」（全国73駅）として国土交通省から選定されており、県内16番目の「道の駅」として国土交通省と琴浦町が整備を行っております。

重点「道の駅」選定理由：隣接する既存の道の駅「ポート赤碕」との機能分担・連携による地元特産品を活用した6次産業化など地産地消の推進など、「道の駅」を核とした賑わいの創出が期待される。

県内の重点道の駅（3駅）：琴の浦、神話の里 白うさぎ、にちなん 日野川の郷

○整備（リニューアル）の概要

国土交通省：駐車場の増設（小型車等91台⇒112台）、道路情報提供施設新設

琴 浦 町：観光交流情報窓口、防災備蓄倉庫、EV充電器の整備、駐車場の設置

2 記念式典の概要

日時：4月29日（土） 9時30分～10時30分

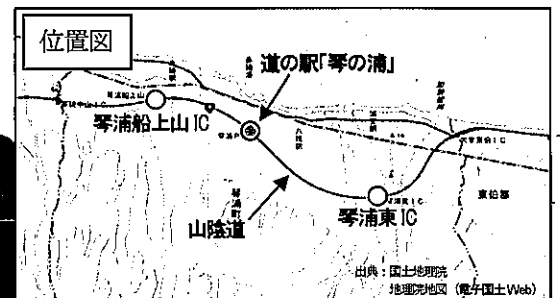
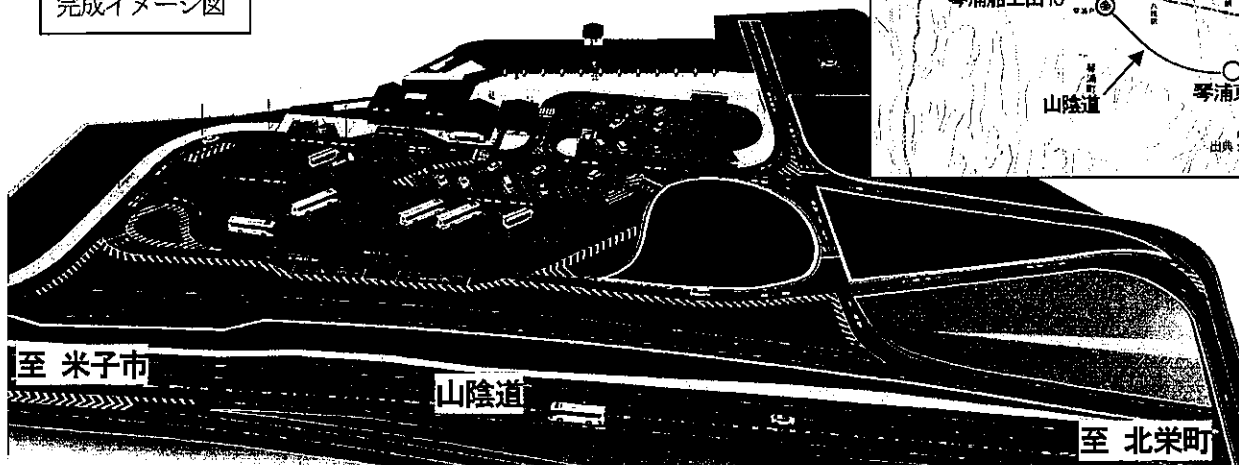
場所：道の駅「琴の浦」 物産館ことうら前（新設駐車場）

主催：琴浦町、後援：国土交通省

主な出席者予定者：

- 県選出国會議員
- 国土交通省 中国地方整備局長外
- 県議會議員
- 鳥取県 県土整備部長外
- 近隣市町長
- 琴浦町議會議員、地元の方々

完成イメージ図



とっとりらしい水害対策の推進について

平成29年4月21日
河川課

「水害に対する警戒・避難情報のあり方検討会」の提言を受け、本年度から鳥取の実情を踏まえ、鳥取の強みを活かした『とっとりらしい水害対策』を推進します。

〔検討会
第1回 H28. 8. 10～第4回 H29. 3. 24〕

1 水害に対する警戒・避難情報のあり方検討会の提言概要 (H29. 3. 24)

- ・ 人口最少、人口減少・少子高齢化の現況下で、地域防災力の低下が懸念される中、鳥取県中部地震でも発揮された鳥取県の強みである「人と人の絆」や「顔の見えるネットワーク」を活かした「支え愛」による地域防災力の強化を図ること。
- ・ 鳥取県の実情を踏まえた水害に対する警戒・避難情報の提供などソフトとハード一体となった防災・減災対策に取り組み、安全・安心で活力ある地域づくりを図ること。

2 とっとりらしい水害対策の推進

(1) 鳥取県の強みを活かした「支え愛」による地域防災力の強化による確実な避難

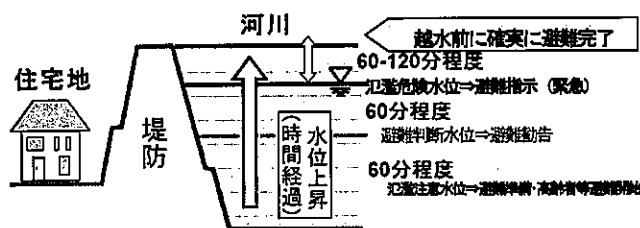
- 地域の「支え愛防災マップづくり」等を通じた地域防災力の強化
 - ・ 本年度にモデル地区で「防災マップ」と「支え愛マップ」をあわせた「支え愛防災マップ」の作成と、マップを活用した防災訓練等を実施し、「自助」と「共助」の防災体制づくりを推進する。
- 鳥取型防災教育の充実・拡大による将来の地域防災の担い手育成
 - ・ 「体験型」「実践型」の防災教育を充実、拡大し、「学校・PTA、町内会など地域と一体となった防災教育」を本年度にモデル校で実施する。

(2) 鳥取方式の水防・河川管理

- 水防団・住民等との協働による水防体制づくり
 - ・ 本年度から水防団・市町村等と意見交換しながら、出水時における水防団・市町村との連携や役割分担、住民からの情報提供等による効率的な水防体制と双方向の連絡体制づくりに着手する。
- ICT等の活用や住民等との協働による河川管理の効率化等
 - ・ 本年度から鳥取大学と連携しながら、ICT(ドローン等)の活用による河川管理の効率化等の検討に着手する。

(3) 鳥取県の実情を踏まえた水害に対する警戒・避難情報の提供

- 水位周知河川以外で簡易想定による概ねの浸水範囲等の情報提供
 - ・ 本年度の台風時期までに水位周知河川等19河川の大規模洪水浸水想定を公表するとともに、来年度の出水期までにその他276河川の簡易浸水想定を情報提供し、市町村の適切な避難判断や「支え愛防災マップ」作成等を支援する。
- 県の実情を踏まえた早めの避難判断基準(水位)等
 - ・ 少子高齢化に伴う高齢者の増加等に伴う避難行動の困難さ、県管理の中小河川における急激な水位上昇、管理延長が長いことなどによる避難情報等の伝達の複雑さなど、県の実情や県管理河川の現状を踏まえ、当面の間、安全で確実な避難につながるよう、早めの避難勧告等につながる避難判断等基準水位を設定する。



水位名称	避難情報	避難行動(住民等)
氾濫危険水位	避難指示(緊急)	避難中の者は直ちに避難完了
避難判断水位	避難勧告	避難開始
氾濫注意水位	避難準備・高齢者等避難開始	避難準備 高齢者等者は避難開始

○ 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用した重点監視とハード対策の推進

・重点監視区間の設定と河川監視カメラ等の増設

河川・堤防機能の脆弱性評価（越水、侵食、浸透）結果を、市町村及び水防団等と情報共有し、被災実績、背後の状況等の水害リスクを勘案した重点監視区間を設定し、出水時の河川巡視の優先度を明確化する。

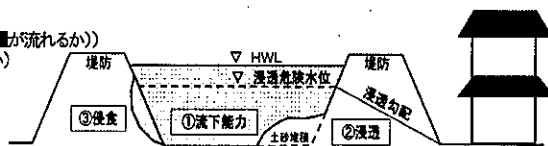
また、重点監視区間等洪水に対しリスクの高い区間に水位計や河川監視カメラ等を設置し、市町村、水防団等と情報共有できる基盤整備を進める。

・ハード対策等の優先順位付けと計画的な予防保全型維持管理の推進

河川・堤防機能の脆弱性評価の結果をもとに、河川改修や堤防の質的改良等のハード対策の優先順位付けを行い、着実に推進するとともに、計画的な予防保全型維持管理を推進する。

《河川・堤防機能の脆弱性評価(簡易評価)》

- ・越水評価(河道の流下能力評価(どの位の流量が流れるか))
- ・浸透評価(浸透による堤防破壊が起り得るか)
- ・侵食評価(流速に耐え得る護岸構造か)



3 本年度の出水期までに実施する対策

(1) 県管理河川の大規模氾濫減災協議会の立ち上げ

- ・「県管理河川の大規模氾濫減災協議会」を設置し、検討会の提言を踏まえ、県・市町村が連携して概ね5年間で実施する「水害に対するソフト・ハードの取組」(アクションプラン)をとりまとめ、できることから実施する。

<設置単位> 千代川圏域(東部)・天神川圏域(中部)・日野川圏域(西部)の圏域単位

<構成員> 市町村長、県(危機管理局、県土整備局、河川課)、国交省(河川国道事務所等)、気象台

(2) ホットラインの定着と防災行動計画(タイムライン)の作成及び訓練

- ・洪水時に河川管理者から市町村長へ河川水位情報等を伝達する「ホットライン」について、出水期までに市町村長に周知を図る。
- ・県管理河川の特性を踏まえた防災行動計画(タイムライン)を市町村と整理・共有し、避難情報等のタイミングの明確化及び訓練を実施する。

(3) 要配慮者利用施設管理者への説明会

- ・昨年10月にも東・中・西部で開催した施設管理者への説明会を出水期までに再度開催し、防災情報の理解や避難確保計画の作成を促進する。

4 継続的な取組

- ・「県管理河川の大規模氾濫減災協議会」を定期的に開催し、国・県・市町村等の取組について進捗管理や検証、見直しを行いながら、計画の着実な推進を図る。
- ・水害に対するソフト・ハード対策について、鳥取県国土強靱化地域計画における関連施策とともに、総合的かつ計画的に実施するため、関連施策の進捗状況を適切に管理しながら、新たな展開を図っていくというPDCAサイクルによるスパイラルアップと計画の着実な推進を図る。

＜水害に対する警戒・避難情報のあり方検討会の概要＞

1 構成員

鳥取大学栢見副学長(地域防災工学)、矢島准教授・梶川助教(水工学)、鳥取県学校防災アドバイザー、美保南まちづくり協議会、鳥取市社会福祉協議会、社会福祉法人萌生会、NHK鳥取放送局、国土交通省鳥取河川国道事務所、鳥取地方気象台、鳥取市総務部防災調整危機管理課、鳥取県危機管理局

2 開催経過

平成28年8月10日 第1回検討会

- ・現状と課題、論点等

平成28年11月30日 第2回検討会

- ・避難勧告等判断基準水位の見直し、住民目線での情報発信と伝達方法、市町村長が避難勧告等の発令の必要性を判断しやすい情報、岩手県等での水害を踏まえたその他河川における課題と対応の方向性

平成29年2月1日 第3回検討会

- ・堤防機能の脆弱性評価、洪水浸水想定区域の見直し、ハザードマップ等に盛り込む情報、住民の水害に対する心構えと知識を備える方策

平成29年3月24日 第4回検討会

- ・提言書とりまとめ

鳥取県における水害に対する警戒・避報等のあり方 提言の概要

■人口減少・少子高齢化の現況下で、地域防災力の低下が懸念される中、鳥取県中部地震でも発揮された鳥取県の強みである「人と人の絆」を活かした「支え愛」による地域防災力の強化を図るとともに、水害に対する警戒・避報情報の提供など、ソフトとハード一体となった防災・減災対策に取り組み、安心・安全で活力ある地域づくりを図る。

<鳥取県の目指す姿>

■鳥取発の地方創生の実現 (鳥取元気づくり総合戦略H28.6改定)

○鳥取県の人口は、全国で最も少なく、人口減少・少子高齢化が進む中で、「人口減少に歯止めをかける」「人口減少でも持続的で活力ある地域をつくる」ことを目指す。

<基本戦略>

- ・豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる
- ・人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む
- ・幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

○本県の強みである「人と人の絆」を活かした「支え愛」による安心・安全な地域づくりを目指す。



地方創生と国土強靱化
連携して相乗効果を発揮

■鳥取県における国土強靱化 (鳥取県国土強靱化地域計画H28.3策定)

○鳥取県が抱える局地的・集中化・激甚化する気象災害、急激に進む人口減少・少子高齢化による避難行動要支援者の増加や地域コミュニティの衰退、インフラの老朽化等の課題に対して、「強さ」と「しなやかさ」を持った安心・安全な地域・経済社会を構築し、地域活性化と持続的な成長につなげることを目指す。

<国土強靱化の方向性> ※水害関係

- ハード・ソフトを組み合わせた多重防御による地域づくり
 - ・防災・減災対策の重点化、予防保全型の老朽化対策の推進
- 地域防災力の強化
 - ・「自助」、避難行動要支援者を地域住民で支援する「共助」の体制づくり、ボランティアとの連携を含めた「地域コミュニティの再構築」

<最近の水害の特徴>

■気候変動の影響

- 近年、地球温暖化に伴う気候変動で観測史上最大降雨が頻発し、全国的に洪水による堤防決壊等の大規模水害が多発
- ◆全国：時間雨量80mmを超える件数が約20年前の約1.5倍
- ◆鳥取県：時間雨量103㎜(H19琴浦町)、総雨量938㎜(H23大山町観測)

■鳥取県内における最近の水害等の特徴

- H23.9 佐陀川：増水による洗掘により堤防決壊寸前
 - ・堤防脆弱部での危険箇所の把握と監視、迅速な情報提供が必要
- H25.9 大路川：河川増水で避難勧告が出されたが避難者はわずか
 - ・住民へのわかりやすい情報発信、防災教育や意識啓発が必要

■H27.9 関東・東北豪雨での大規模氾濫による水害の特徴

- 広範囲・長時間にわたる浸水により多数の孤立者が発生、堤防決壊に伴う氾濫流により多くの家屋が倒壊・流失
 - ・避難勧告等の遅れ等による避難の遅れ
 - ・避難勧告等発令のタイミングや対象地区が具体的に定められず

■H28.8 北海道・東北豪雨での中小河川における水害の特徴

- 要配慮者利用施設で逃げ遅れによる甚大な人的被害が発生
 - ・小本川は水位周知河川に指定されず浸水想定区域も公表されず
 - ・施設管理者が避難準備情報の意味を理解されず
 - ・県の情報が首長に伝わっておらず発令基準を超えても避難勧告されず

<県内河川の特徴と県管理河川の整備・管理の状況>

■県内河川の特徴

- 県内河川は、全国的にも急流河川であり、県管理の中小河川は、河川延長が短く、河川断面も小さいことから、局所的な集中豪雨等により急激な水位上昇を引き起こす場合が多い。

■県管理河川の整備・管理の状況

- 河川整備率が低く堤防幅が確保されていない箇所が多い。
- 県管理河川は、流域内に多数の河川をかかえ、管理延長も長いため、出水が複数箇所同時発生し、情報伝達等が複雑となる。

<対応すべき課題>

■社会構造の変化や県内河川の現状等に伴う課題

- 人口減少・少子高齢化による地域防災力の低下 (避難行動の困難さ、地域コミュニティの変化、水防団員の減少等)
- 近年県内では大規模な水害を経験していないことや、避難行動要支援者の増加や屋間の防災の担い手不在等による避難誘導の困難さ
- 急激に水位上昇する県内河川の特長、県管理河川の不十分な整備の現状、複数河川での同時出水時の情報伝達等の複雑さ
- 河川管理施設の老朽化の進行

■県管理河川の大規模氾濫に対する課題

- 危険な場所からの立ち退き避難、市町村・住民等の適切な判断・行動、水防体制の脆弱化
- 「洪水を河川内で安全に流す」施策だけで対応することの限界
- 「自分は災害にあわないという思い込み」(正常性バイアス)による避難の遅れ

■県管理の中小河川等における課題

- 適切な避難のための情報提供・共有 (市町村長への確実な情報伝達、水位周知河川以外の河川での水害リスク情報の提供)
- 要配慮者利用施設管理者等の避難準備情報等の理解不足と避難確保計画策定の必要性の認識不足

<対策の基本方針>

■鳥取県中部地震でも発揮された本県の強み「人と人の絆」を活かした地域防災力の強化と持続的で安全・安心な活力ある地域づくりの推進

- 水害リスク情報の提供と「人と人の絆」を活かした「支え愛」による地域防災力の強化と安全・安心で活力ある地域づくり
- 計画的な予防保全型維持管理と人材育成等による適切な管理体制の構築
- 本県の実情や県管理河川の整備・管理の現状を踏まえた適切な避報情報等の提供

■県管理河川における大規模氾濫に対して「施設では守り切れない大洪水は必ず発生する」との考えに立ち、人的被害や社会経済被害の影響を最小限にする

- 住民目線のソフト対策への転換 (円滑かつ迅速な避難の実現、効率的な水防活動の推進)
- 「自分は災害にあわないという思い込み」(正常性バイアス)打破のための体験型(水害危険性)、実践型(避難行動)の学習・訓練の導入
- 減災のための危機管理型ハード対策の導入 (粘り強い構造の堤防整備)

■水位周知河川以外の中小河川等において逃げ遅れによる人的被害をなくす

- 水害リスク情報等の共有(水位周知河川以外の河川の浸水想定提供、水位周知河川の指定促進、市町村長への確実な情報伝達)
- 要配慮者利用施設における確実な避難のための防災情報の理解促進と避難体制の確立

＜実施すべき対策＞

■地域の防災体制づくり

- 地域の支え愛防災マップづくり等を通じた地域防災力向上の取組
- ★体験・実践型で水害の危険性と避難行動を学習
 - ・防災学習、出前講座等の実施（水害の危険性の認識）
 - ・危険箇所の現場点検、ワークショップ（水害の危険性の体験）
 - ・支え愛防災マップ等を活用した水防災訓練等（水害を想定した実践）
- 住民主体の防災体制づくりの推進
 - ・防災リーダーの育成
 - ・自主防災組織等への研修 等

■住民の水害に対する心構えと知識を備える方策

◇**防災学習・啓蒙の意識啓発**

- 鳥取型防災教育の充実・拡大の取組
- ★体験型・実践型で水害の危険性等を学習
 - ・PTAや町内会等と協力し、地域一体となった防災教育の取組
- 住民の意識啓蒙、地域の防災学習の継続的な取組

◇**行政等の防災力向上**

- 行政等の防災力向上研修・訓練
- 市町村と要配慮者利用施設との情報の伝達・共有化の体制づくり

◇**的確な水防活動の推進**
効率的・効果的な水防活動・河川巡視等

- 重点監視区間の設定と監視カメラ等の増設
- ICT等の活用や住民等との協働による河川巡視・点検の効率化（鳥大等との連携：住民参画による効果的な維持管理）
- 水防団・住民等との協働による水防体制づくり
 - ・情報の錯綜や集約が生じない双方向の連絡体制の構築

■水害リスク情報等の共有

◇**水位周知河川等の水害リスク情報**
(19 河川)

- 大規模洪水浸水想定区域の提供
 - ・想定最大規模降雨洪水浸水想定区域
 - ・家屋倒壊等氾濫想定区域 等
- 水位周知河川等の指定促進

◇**水位周知河川等以外の河川の水害リスク情報**
(276 河川)

- 避難勧告等発令する範囲の目安として、簡易浸水想定による概ねの浸水範囲を提供

◇**県内河川の現状を踏まえた避難判断等基準**

＜水位周知河川等 19 河川＞

- 安全で確実な避難につながる早めの避難勧告等の発令（当面の運用）
- 十分な避難時間等を考慮した判断基準水位の設定

＜水位周知河川等以外の河川 276 河川＞

- 避難勧告等の概ねの目安として、雨量情報や降雨指標、過去の水害実績等の活用の検討

◇**河川・堤防機能の脆弱性評価**

- ・越水（流下能力）・浸透・侵食など

○**ハード対策等の推進と計画的な予防保全型維持管理**

- ・河川改修や堤防の質的改良等の優先順位付けと推進
- ・計画的な予防保全型維持管理の推進

○**危機管理型ハード対策の導入**

- ・粘り強い堤防構造の工夫

■円滑かつ迅速な避難の実現

◇**住民等の主体的な避難の促進**
～住民目線のおかりやすい情報提供～

- 避難行動に直結するハザードマップの改良
- わかりやすく切迫性のある河川情報画面の改良
- 県管理河川の防災行動計画（タイムライン）の作成（例えば市町村毎の防災行動計画）
- 「家庭用災害・避難カードの作成」の取組の推進
- わかりやすい避難情報の伝達文の検討
- 多様な手段での河川情報等の提供による確実な情報伝達
 - ・プッシュ型の洪水情報の発信
 - ・防災サインの普及啓発 等
- 重点監視区間の設定と監視カメラ等の増設

◇**要配慮者利用施設における確実な避難**

- 要配慮者利用施設管理者説明会（避難確保計画等）の推進
- ★避難確保計画の作成及び計画に基づいた避難訓練の実施支援の取組

◇**市町村長による避難勧告等の適切な発令**
～市町村が判断しやすい情報提供～

- 氾濫の拡大が時系列的にわかるシミュレーション
- 避難勧告等の目安となる河川水位情報の自動配信
- 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着
- 過去の洪水時の雨量と水位の関係整理と水位予測の検討
- わかりやすく切迫性のある河川情報画面の改良
- 県管理河川の防災行動計画（タイムライン）の作成（例えば市町村毎の防災行動計画）
- 重点監視区間の設定と監視カメラ等の増設
- 多様な手段での河川情報等の提供による確実な情報伝達

ソフト・ハード一体となった効率的で効果的な対策の実施

＜持続的な取り組みに向けて＞

- 「**県管理河川の大規模氾濫減災協議会**」における水害に対するソフト・ハードの持続的な取組
 - ・平成29年の出水期までに「県管理河川の大規模氾濫減災協議会」（国・県・市町村で構成）を圏域毎に設置
 - ・概ね5年間で実施する水害に対するソフト・ハードの取組（アクションプラン）を策定、毎年フォローアップ
- 鳥取県国土強靱化地域計画の関連施策と併せた総合的かつ計画的な取組
 - ・水害に対するソフト・ハード対策について、鳥取県国土強靱化地域計画における関連施策とともに、総合的かつ計画的に実施するため、関連施策の進捗状況を適切に管理しながら、新たな展開を図っていくというPDCAサイクルによるスパイラルアップと計画の着実な推進

平成 28 年度 第 3 回 湖山池会議の開催概要について

平成 29 年 4 月 21 日
水・大気環境課
河川課

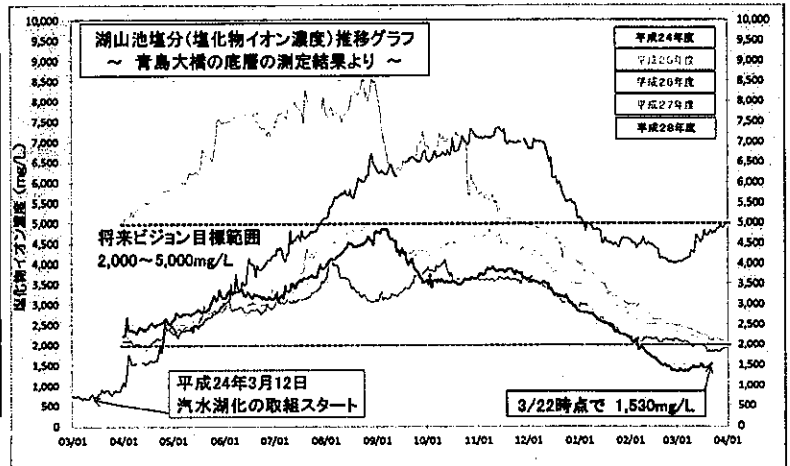
3月27日（月）に平成28年度3回目の湖山池会議を開催したので、その概要を報告する。
（出席者：県 野川統轄監ほか関係部長、鳥取市 羽場副市長ほか関係部長）

1 平成 28 年度の水質状況報告

平成28年度の塩分濃度等の水質状況について報告した。

塩分濃度	・平成 26 年度、27 年度に引き続き、年間通じて将来ビジョンに定める 2,000～5,000mg/L の範囲で管理することができた。
水質指標	・近年 3 年間の COD（化学的酸素要求量）、全窒素、全りん値は改善傾向で推移し、平成 28 年度は汽水化後で最も良好な値となった。（COD は将来ビジョン計画目標値を達成） ・透明度は横ばいで推移しており、汽水化以前に繁茂していたアオコ等を抑制した効果は保たれているものと考えている。

区分	H26 年	H27 年	H28 年	ビジョン計画 目標値
COD (7.5%値)	7.0	5.7	5.5	5.5 mg/L 以下
全窒素 (年平均値)	0.87	0.75	0.67	0.60 mg/L 以下
全りん (年平均値)	0.120	0.100	0.092	0.066 mg/L 以下
透明度 (4月～11月 平均値)	0.79	0.83	0.77	1.0 m 以上



2 平成 29 年度の水質管理方針

有識者で構成する環境モニタリング委員会の助言等を踏まえ、次の方針とすることを決定した。

塩分管理	○ 春季は、可能な限り低値で推移させる。 ○ 夏季は、溶存酸素の確保に最大限配慮しつつ、将来ビジョンに定める範囲での管理をめざす。
水門操作	○ これまでと同様、溶存酸素量を監視しながら、きめ細やかな水門操作を実施する。 ○ 塩分濃度が低く酸素濃度が高い表層部分の海水流入が可能なオーバーフロー構造へ改築中であり（平成 29 年 5 月末完成予定）、改築後は水質等の変化を注視し、効果検証等を行いながら、よりきめ細やかな操作を行う。
水質汚濁の原因分析	○ 水質汚濁等の原因究明に関する調査の結果分析を進める。 ・底質環境の全域調査による水質汚濁の原因究明 など

3 平成 29 年度の主な事業についての報告

県・市の関係部署の主要事業について、結果及び事業概要を報告した。

県・生活環境部 (水・大気環境課、衛生環境研究所)	・水質観測ほか各種環境モニタリングの実施 ・ビオトープの造成検討（環境モニタリング委員会と連携）
県・県土整備部 (河川課、鳥取県土整備事務所)	・湖山水門の部分改築状況（平成 29 年 6 月から運用開始予定） ・覆砂の試験施工と効果検証・ヘドロの浚渫（福井地区）
県・水産振興局 (水産課、栽培漁業センター) 市・農林水産部（林務水産課）	・魚介類のモニタリングの実施 ・シジミ増殖策の検討（覆砂による漁場の拡大） ・ウナギ、ワカサギの稚魚放流、産卵場整備
市・環境下水道部 (下水道企画課、生活環境課)	・周辺下水道の整備推進 ・住民との意見交換会 →主要な意見として観光・利活用の推進を求める声が目立った。 ・湖山池アダプトプログラム

平成29年度天神川総合水防演習の実施について

平成29年4月21日
河 川 課

洪水による大規模水害の発生を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるためには、ハード事業、ソフト事業の推進はもとより、それぞれの地域における水防活動が重要な役割を担っており、この水防活動は、関係機関との密接な連携のもとに迅速かつ円滑に行う必要があります。

このたびの水防演習は、天神川における洪水を想定し、国土交通省、水防管理団体を始めとする関係機関及び地域住民の参加のもと、タイムラインに基づき、情報伝達・水防工法・人命救助・避難訓練等を行うことにより、関係機関の意識高揚を図り、水防工法技術の錬磨に努めるとともに、地域住民に対し水防に係る普及活動を図り、水防体制の確立を図ることを目的として実施します。

なお、県では独自に毎年水防訓練を実施しているところですが、今回は、国土交通省と共催で4年ぶりに本県で水防演習を行うものです。

1 開催日時

平成29年5月28日（日）
午前9時～正午（小雨決行）

2 場 所

天神川左岸河川敷（竹田橋上流）
倉吉市東巖城町地先

3 日程（予定）

（1）開会

- ・主催者挨拶 国土交通省、鳥取県
- ・来賓挨拶

（2）演 習

要配慮者施設避難訓練・垂直避難訓練（訓練の様子を事前収録し当日放映）、水防工法訓練、情報発信訓練（あんしんトリピーメール等を活用）、情報伝達訓練、住民避難・避難誘導訓練、人命救助・救護訓練、UAV（ドローン）を活用した被災箇所の調査訓練等

（3）閉 会

- ・講評

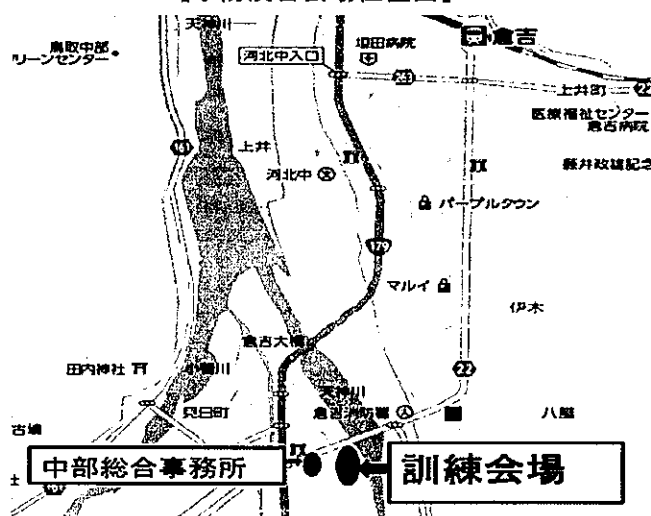
4 主 催

国土交通省中国地方整備局、鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

5 参加予定団体（25団体）

上記主催者、陸上自衛隊第13旅団・第8普通科連隊・第13飛行隊・第304施設隊、鳥取地方气象台、中国管区警察局鳥取県情報通信部、鳥取県警察本部、倉吉警察署、鳥取県消防防災航空センター、鳥取中部ふるさと広域連合消防局、日本赤十字社鳥取県支部、一般社団法人鳥取県建設業協会、災害応急対策協力事業者、中国地方防災技術支援者、日本海ケーブルネットワーク株式会社、一般社団法人日本自動車連盟鳥取支部、東巖城地区自治会、下田中地区自治会、倉吉市立上小鴨小学校

【水防演習会場位置図】



鳥取砂丘コナン空港ビル一体化工事について

平成29年4月21日

空港港湾課

○鳥取砂丘コナン空港の国内線ターミナル及び国際会館の一体化にかかる実施設計が完了しましたのでご報告します。

1. 計画の概要

基本コンセプト

【空港機能の向上】

- ・出発・到着時の混雑緩和
- ・空港利用者の満足度アップ
- ・臨時便、増便への柔軟な対応

【利便性の向上】

- ・バリアフリー化
- ・動線を考慮したテナント配置
- ・観光ルートの結節点

【空の駅らしさ】

- ・愛称化装飾によるPR
- ・情報の発信
- ・観光の拠点
- ・賑わいの拠点
- ・ビジネスの拠点

事業概要

【施設の拡張、施設間連携強化】

- ・搭乗待合(300㎡→350㎡)、手荷物受取導線の見直し
- ・飲食、物販面積(140㎡→570㎡)
- ・国際会館ボーディングブリッジへの連絡通路整備

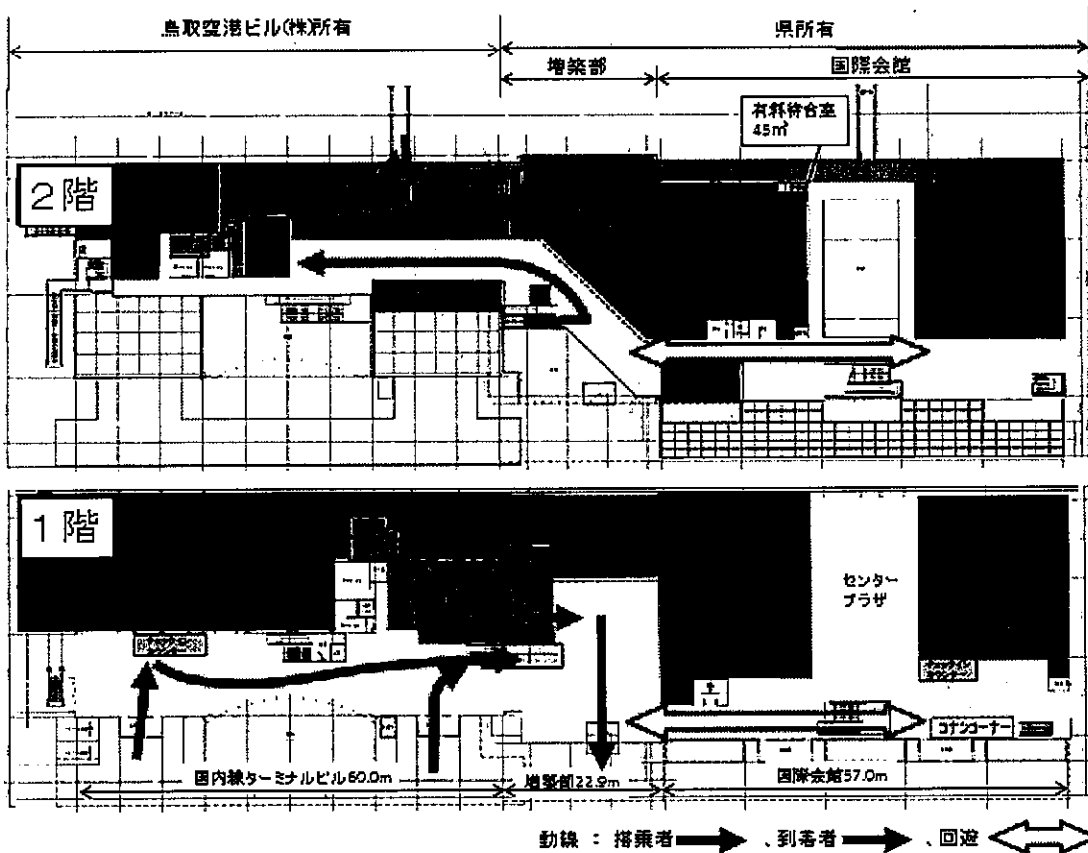
(空ビル(株)実施)
カードラウンジ
搭乗待合拡張
(検討中)

【バリアフリー化、回遊性の向上、結節点機能強化】

- ・到着用エスカレーター(制限区域内)の整備
- ・増築部にテナント集約、その前を通る導線配置計画
- ・二次交通の強化、レンタサイクル等の整備

【滞在して楽しめる施設整備】

- ・愛称化装飾を行っている国際会館との一体性強化
- ・観光情報、観光案内所の設置
- ・愛称化装飾強化(コナンコーナー)、飲食・物販機能の強化
- ・イベントスペース及び交流スペースの確保
- ・物産情報のPRスペースの設置



2. 工事による影響への対応

工事中は空港利用者へのサービスが低下しないよう、県（空港港湾課、営繕課、観光戦略課、まんが王国官房）、空港ビル(株)、工事受注業者などで定期的に協議を行い工事の影響による空港利用者の減少防止に努める。

3. スケジュール

- ・6月上旬に一体化工事の契約（5月上旬調達公告予定）
- ・平成30年3月 工事完成（引続き内装工事実施）
- ・平成30年7月 グランドオープン

ユネスコ世界ジオパーク鳥取隠岐間超高速船チャーター事業結果について

平成29年4月21日
空 港 港 湾 課

「山陰海岸ジオパーク」と「隠岐世界ジオパーク」とを海上ルートで結ぶ鳥取隠岐間航路の可能性検討のため、隠岐汽船株式会社が運航する超高速船「レインボージェット」をチャーターして、平成27年4月、平成28年4月に続き、3回目となるチャーター運航を実施しました。

今回の運航では、乗船率の向上を目指し、全区間でツアー造成を強化しましたが、前回より乗船者が減少しました。

今後は、今回得られた結果を踏まえ、採算面での検証を行い、山陰海岸と隠岐のユネスコ世界ジオパークを結ぶ航路としての活用について、関係者と検討を行います。

1 実施日

平成29年4月7日（金）

2 実施者

鳥取港振興会

3 区間別の発着時間・乗船者数等

(1) A区間

- ・行 程：七類港11時00分発～鳥取港12時18分着
- ・乗船者数：4名 [県内旅行社]

※前回、比較的好調だった韓国旅行社によるツアー（DBSクルーズフェリー利用者の集客）は、今回、乗船料の有料化等の理由からツアー実施に至らなかった。

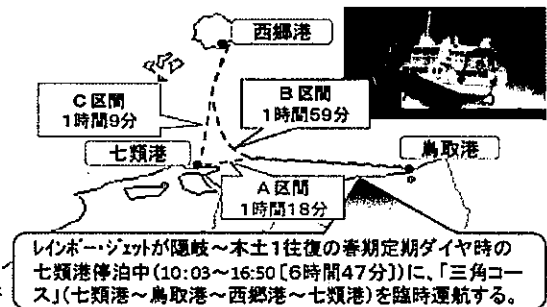
(2) B区間

- ・行 程：鳥取港12時30分発～西郷港14時29分着
- ・乗船者数：57名 [うち関西旅行社22名、県内旅行社18名、ジオパーク関係者9名、鳥取港振興会会員8名]

※前回、関西旅行社によるツアーはキャンセル待ちが25名発生し好調だったが、今回、乗船料の有料化等に伴うツアー代金の上昇等の影響により大幅な減少となった。

(3) C区間

- ・行 程：西郷港14時37分発～七類港15時46分着
- ・乗船者数：7名 [県内旅行社7名]

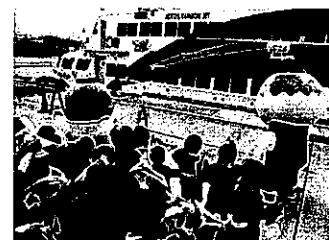


【乗船者数の比較】

区間	A区間	B区間	C区間
航路	七類港⇒鳥取港	鳥取港⇒西郷港	西郷港⇒七類港
発着時間	11:00⇒12:18	12:30⇒14:29	14:37⇒15:46
乗船者数	前回 (H28)	116名 (関西旅行社83名、 県内旅行社18名、 ジオパーク関係者15名)	8名 (一般)
	今回 (H29)	4名 (韓国旅行社0名 県内旅行社4名)	7名 (県内旅行社)

4 鳥取港岸壁での催し

- ・入港記念セレモニー（郷土芸能披露、鳥取港振興会会長挨拶）
- ・山陰海岸ジオパーク&隠岐ジオパーク紹介コーナー
- ・ゆるキャラ（トリピー・湖池ちゃん）出演
- ・無料ふるまいコーナー（かに汁、砂丘らっきょう）
- ・保育園児等によるお見送り



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】 主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 摘要
道路企画課 〔八頭県土整備 事務所〕	県道岩美八東線(姫路A505工 区)道路災害防除工事(交付金防 災)(経済対策)	八頭郡 八頭町 姫路	こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹	94,068,000円 (予定価格) 101,544,840円	平成29年 3月21日 ~ 平成29年11月10日	平成29年 3月21日	制限付 一般競争入札 (14社)
道路建設課 〔鳥取県土整備 事務所〕	国道178号(岩美道路)改良工事 (3工区)(補助)(経済対策)	岩美郡 岩美町 陸上	株式会社興洋工務店 代表取締役 亀井 勲	150,552,000円 (予定価格) 162,763,560円	平成29年 3月29日 ~ 平成29年12月 8日	平成29年 3月28日	制限付 一般競争入札 (11社)
道路建設課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	国道181号(岸本バイパス)改良 工事(9工区)(社会交付金)(経済 対策)	西伯郡 伯耆町 金廻	イワタ建設株式会社 代表取締役 岩田 義美	93,960,000円 (予定価格) 101,115,000円	平成29年 3月 8日 ~ 平成29年10月23日	平成29年 3月 7日	制限付 一般競争入札 (15社)
河川課 〔鳥取県土整備 事務所〕	岩美海峯(浦富地区)人工リーフ 整備工事(経済対策)	岩美郡 岩美町 浦富	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	166,860,000円 (予定価格) 177,620,040円	平成29年 3月29日 ~ 平成29年12月13日	平成29年 3月28日	制限付 一般競争入札 (1社)
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護岸工) (3工区)(経済対策)	東伯郡 北条町 弓原	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	133,812,000円 (予定価格) 145,652,040円	平成29年 3月22日 ~ 平成29年12月 1日	平成29年 3月22日	制限付 一般競争入札 (12社)
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護岸工) (2工区)(経済対策)	東伯郡 北条町 弓原	馬野建設株式会社 代表取締役社長 馬野 慎一郎	94,932,000円 (予定価格) 103,249,080円	平成29年 3月24日 ~ 平成29年11月13日	平成29年 3月24日	制限付 一般競争入札 (12社)
治山砂防課 〔鳥取県土整備 事務所〕	岡井地区災害関連緊急傾斜地 崩壊対策工事	鳥取市 鹿野町 岡木	有限会社プロテクト 代表取締役 岸野 忍	108,000,000円 (予定価格) 113,640,840円	平成29年 3月31日 ~ 平成29年12月20日	平成29年 3月30日	制限付 一般競争入札 (3社)

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	県土整備部 摘要
道路企画課 中部総合事務所 県土整備局	国道313号外道路維持修繕工事 (倉吉西工区)(維持修繕)	倉吉市	有限会社若建設工業 代表取締役 若原 麻記	(当初契約額) 53,784,000円	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月27日	(当初契約年月日) 平成28年 4月 1日	
				(第1回変更後契約額) 79,323,840円 〔 25,539,840円〕		(第1回変更契約年月日) 平成28年 9月26日	
				(第2回変更後契約額) 104,376,600円 〔 25,052,760円〕		(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月24日	
道路企画課 中部総合事務所 県土整備局	国道179号外道路維持修繕工事 (倉吉東工区)(維持修繕)	倉吉市	有限会社若建設工業 代表取締役 若原 麻記	(当初契約額) 54,216,000円	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月27日	(当初契約年月日) 平成28年 4月 1日	
				(第1回変更後契約額) 79,138,080円 〔 24,922,080円〕		(第1回変更契約年月日) 平成28年 9月26日	
				(第2回変更後契約額) 124,651,440円 〔 45,513,360円〕	(変更後工期) 平成29年 4月28日	(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月24日	
道路企画課 西部総合事務所 米子県土整備局	国道181号(伯耆橋工区)橋梁床 版工事(防災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 大殿	株式会社平井組 代表取締役 西澤 賢史	(当初契約額) 112,212,000円	平成28年 8月31日 ~ 平成29年 3月24日	(当初契約年月日) 平成28年 8月30日	
				(第1回変更後契約額) 117,019,080円 〔 4,807,080円〕	(変更後工期) 平成29年 7月14日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 3月13日	

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	概要
道路建設課 鳥取県土整備 事務所	国道178号(岩美道路)橋梁上部 工事(浦富高架橋)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	株式会社Hインフラシステム中国営業所 所長 安樂 義明	(当初契約額) 348,840,000円 (第1回変更後契約額) 363,038,760円 (変更額) 〔 14,198,760円 〕	平成28年11月11日 ～ 平成30年5月10日	(当初契約年月日) 平成28年11月11日 (第1回変更契約年月日) 平成29年3月24日	
道路建設課 鳥取県土整備 事務所	国道178号(岩美道路)橋梁下部 工事(2工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	美穂建設株式会社 代表取締役 田中 直美	(当初契約額) 182,952,000円 (第1回変更後契約額) 194,161,320円 (変更額) 〔 11,209,320円 〕	平成28年8月8日 ～ 平成29年3月17日 (変更後工期) 平成29年7月14日	(当初契約年月日) 平成28年8月8日 (第1回変更契約年月日) 平成29年3月6日	
道路建設課 鳥取県土整備 事務所	国道178号(岩美道路)橋梁下部 工事(1工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 183,276,000円 (第1回変更後契約額) 193,060,800円 (変更額) 〔 9,784,800円 〕	平成28年8月3日 ～ 平成29年3月17日 (変更後工期) 平成29年7月17日	(当初契約年月日) 平成28年8月2日 (第1回変更契約年月日) 平成29年3月15日	
道路建設課 中部総合事務所 (県土整備局)	県道鳥取鹿野倉吉線(片柴2工区)橋梁上部工事(波関橋)(交付金改良)	東伯郡 三朝町 片柴	県道鳥取鹿野倉吉線(片柴2工区)橋梁上部工事(波関橋)(交付金改良)日本ピーエス・打吹建設特定建設工事共同企業体 株式会社日本ピーエス鳥取営業所 所長 石井 和正	(当初契約額) 139,536,000円 (第1回変更後契約額) 140,510,160円 (変更額) 〔 974,160円 〕	平成28年8月19日 ～ 平成29年3月15日 (変更後工期) 平成29年3月21日	(当初契約年月日) 平成28年8月19日 (第1回変更契約年月日) 平成29年3月9日	

県土整備部

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	要
道路建設課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	国道181号(岸本/バイパス)改良 工事(2工区)(社会交付金)	西伯郡 伯耆町 金廻	株式会社大協組 代表取締役 小山 典久	(当初契約額) 150,444,000円 (第2回変更後契約額) 155,443,320円 (変更額) 〔 4,999,320円 〕	平成28年 5月30日 ~ 平成29年 2月 5日 (変更後工期) 平成29年 3月15日	(当初契約年月日) 平成28年 5月27日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 1月 4日 (第2回変更契約年月日) 平成29年 3月 7日	
道路建設課 〔西郡総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局〕	国道183号河上工区道路改良工 事(11工区)(交付金改良)(経済 対策)	日野郡 日南町 宮内	国道183号河上工区道路改良工事 (11工区)(交付金改良)(経済対策) 澤田建設・みどり建設特定建設工事 共同企業体 代表者 サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 94,716,000円 (第1回変更後契約額) 123,008,760円 (変更額) 〔 28,292,760円 〕 (第2回変更後契約額) 122,913,720円 (変更額) 〔 △95,040円 〕	平成28年 3月15日 ~ 平成28年11月 4日 (変更後工期) 平成29年 3月10日	(当初契約年月日) 平成28年 3月15日 (第1回変更契約年月日) 平成28年11月 4日 (第2回変更契約年月日) 平成29年 3月10日	
河川課	大路川広域河川改修工事(山白 川排水機場)(6工区)	鳥取市 富長	クボタ精工株式会社中国営業所 所長 石田 哲之	(当初契約額) 362,491,200円 (第1回変更後契約額) 364,779,720円 (変更額) 〔 2,288,520円 〕	平成27年10月23日 ~ 平成29年 3月15日 (変更後工期) 平成29年 6月 5日	(当初契約年月日) 平成27年10月22日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 3月15日	
河川課 〔鳥取県土整備 事務所〕	大路川広域河川改修工事(伏越 工II期)	鳥取市 吉成	株式会社トラスト 代表取締役 倉持 恭子	(当初契約額) 111,024,000円	平成28年 9月 2日 ~ 平成29年 3月15日 (変更後工期) 平成29年 5月31日	(当初契約年月日) 平成28年 9月 2日 (第1回変更契約年月日) 平成29年 3月15日	

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
【変更分】 河川課 〔鳥取県土整備 事務所〕	塩見川広域河川改修工事(1工 区)	鳥取市 福部町 細川	株式会社栗山組 代表取締役社長 栗山 和夫	(当初契約額) 149,904,000円	平成28年 7月11日 ~ 平成29年 2月 6日	(当初契約年月日) 平成28年 7月11日	
				(第1回変更後契約額) 188,250,480円 (変更額) 〔 38,346,480円〕	(変更後工期) 平成29年 3月24日	(第1回変更契約年月日) 平成28年12月27日	
					(変更後工期) 平成29年 4月28日	(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月24日	
河川課 〔西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局〕	日野川霞地区河川改修工事(権 現堰2工区)	日野郡 日南町 霞	株式会社コーセー 代表取締役 川端 登志一	(当初契約額) 142,452,000円	平成28年10月25日 ~ 平成29年 3月21日	(当初契約年月日) 平成28年10月25日	
				(第1回変更後契約額) 152,373,960円 (変更額) 〔 9,921,960円〕	(変更後工期) 平成29年 7月20日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 3月21日	
治山砂防課 〔西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局〕	荒田川砂防堰堤工事(管理用道 路)	日野郡 江府町 荒田	サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 111,456,000円	平成28年 6月29日 ~ 平成29年 2月20日	(当初契約年月日) 平成28年 6月29日	
				(第1回変更後契約額) 116,826,840円 (変更額) 〔 5,370,840円〕	(変更後工期) 平成29年 3月27日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 1月27日	
					(変更後工期) 平成29年 7月31日	(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月27日	
空港港湾課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	境漁港特定漁港漁場整備工事 (-6.0M岸壁増深)(5工区)	境港市 昭和町	美保テクノス株式会社 取締役社長 野津 一成	(当初契約額) 105,300,000円	平成28年 9月21日 ~ 平成29年 3月17日	(当初契約年月日) 平成28年 9月20日	
					(変更後工期) 平成29年 5月30日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 3月14日	

県土整備部
摘 要

【変更分】 主 務 課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
空港湾課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	境漁港特定漁港漁場整備工事 (-6.0M岸壁増深)(2工区)(経 済対策)	境港市 昭和町	アジア建設工業株式会社山陰出張 所 所長 飯田 敏男	(当初契約額) 168,480,000円	平成28年 5月17日	(当初契約年月日) 平成28年 5月16日	
				(第1回変更後契約額) 192,364,200円 〔 23,884,200円〕	(変更後工期) 平成29年 3月24日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 1月17日	
				(第2回変更後契約額) 194,450,760円 〔 2,086,560円〕		(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月21日	
空港湾課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	境漁港特定漁港漁場整備工事 (-6.0M岸壁増深)(3工区)(経 済対策)	境港市 昭和町	株式会社平井組 代表取締役 西澤 賢史	(当初契約額) 155,520,000円	平成28年 5月25日	(当初契約年月日) 平成28年 5月24日	
				(第1回変更後契約額) 177,865,200円 〔 22,345,200円〕	(変更後工期) 平成29年 3月24日	(第1回変更契約年月日) 平成29年 1月18日	
				(第2回変更後契約額) 180,392,400円 〔 2,527,200円〕		(第2回変更契約年月日) 平成29年 3月22日	